# 見てみよう!歴史災害記録と旬のあいち

January 2023 w

1 2 3 4 5 6 8 9 10 11 12 13 15 16 17 18 19 20 22 23 24 25 26 27

## ◆愛知用水(牧尾ダム建設時殉職者慰霊碑)

所在地:長野県木曽郡木曽町三岳

交 通:木曽町生活交通システム三岳王滝線

「二子持」停南西約 1.2km

知多半島は丘陵性の地形であるため、大きな河川が流れ 込まず、昔から水の確保に苦労してきました。ことわざ「知 多の豊年米食わず」は、知多半島が豊作となる水の豊富な 年は、他の地域では水害がもたらされ不作になる、そんな 様子を表現したもので、それほど水の得にくい地域でした。

愛知用水は、知多半島に安定して水を供給するために整備された用水で、幹線水路 112km、分岐した支線の総延長は 1,012km に及びます。水源は長野県木曽郡王滝村と木曽町にまたがる牧尾ダムで、岐阜県可児市と八百津町にまたがる兼山ダム湖に設置した愛知用水取水口から、愛知池、佐布里池、美浜調整池の 3 つの調整池を経て、日間賀島や佐久島まで水を送ります。農業用水としての機能に加え、水道用水、工業用水の機能も持ち、愛知県を支える重要なインフラとなっています。

愛知用水建設に向けた動きの中心となったのが、知多郡八幡村(現在の知多市八幡町)の久野庄太郎と愛知郡豊明村(現在の豊明市)の浜島辰雄でした。農家に生まれた久野は、勉学に励み水の重要性を実感し、明治用水の成功を知って、知多半島にも用水を引くことを決心します。同じく農家に生まれ、安城農林学校の教員であった浜島は、久野の活動を取り上げた新聞記事を読み、久野のもとを訪れ意気投合し、愛知用水運動を展開していくこととなります。二人が出会った昭和 23(1948) 年には、愛知用水開発期成

同盟会が結成され、年末には吉田茂首相にも陳情を行うなど、運動が大きく進展します。その後、愛知用水公団が設立され、世界銀行からの融資と技術的な支援を受けて、昭和32(1957)年に牧尾ダム工事に着手します。関係者の多大な努力の結果、昭和36(1961)年、愛知用水はわずか5年で完成し、知多半島に安定的な水の供給がもたらされました。

愛知用水の建設にあたっては、困難な工事を進める中、 56名の方が殉職されています。久野は知多の陶芸家・柴山 清風に依頼し、ダムの土を使い500体もの観音像を制作し、 犠牲者が出るたびに弔いに出かけたとのことです。

愛知用水建設にまつわる記念碑や慰霊碑は各地にありますが、そのひとつが、牧尾ダム管理所構内の牧尾ダム建設時殉職者慰霊碑です。ダムが完成した昭和36年5月に建立されたこの慰霊碑には21名の殉職者の氏名が刻まれており、毎年7月には、慰霊碑前で愛知用水建設殉職者慰霊祭が行われています。また、佐布里池湖畔にある愛知用水神社と愛知用水水利観音堂では、毎年5月と11月の水利観音春季祭、秋季大祭で、殉職者の法要が行われています。

牧尾ダム管理所の構内にはこのほかにも、牧尾ダム完成 記念碑や御岳湖碑石(御岳湖は牧尾ダムによるダム湖の通

称)など、愛知用水にまつわる 記念碑や慰霊碑があります。四 季を通じ周囲の山々の彩りが織 りなす御岳湖の美しい風景も絶 品です。ぜひ一度現地に足を運 んでみてください。



牧尾ダム建設時殉職者慰霊碑 (水資源機構・愛知用水の碑写真集より)





▶災害にまつわる碑や史跡には、実際にその地域で起こったことが記録されているだけでなく、当時の人たちの思い(二度と被害を 繰り返さないように、など)が込められています。碑や史跡の前では、災害が実際にこの地域で起こるということを実感していた だくとともに、そうした先人たちの声に耳を傾け思いを巡らせ。身の回りの備えにつなげ、これからの防災に活かしてください。

## 見てみよう!歴史災害記録と旬のあいち バックナンバーから

#### 佐布里池 (vol.59,2019.3)

所在地:知多市佐布里

交 通:知多バス「梅の館口」停東約500m

梅まつりで有名な知多市の佐布里池は、木曽川を水源と し、岐阜県八百津町の兼山取水口から知多半島の美浜町に 至る愛知用水の調整池のひとつです。愛知用水から名古屋 南部臨海工業地帯に工業用水を供給するために、昭和40 年に建設され、現在では隣接する知多浄水場から知多市・ 東海市・阿久比町・東浦町の2市2町内の44の事業所へ、 一日あたり約40万㎡の工業用水を配水しており、この地 域の産業活動において、重要な役割を担っています。

数々の困難を伴った愛知用水の建設にあたっては、工事 中の事故などにより56名の尊い命が失われています。佐 布里池の湖畔には、56名の犠牲者を合祀する愛知用水水 利観音堂が、愛知用水の発展を祈念する愛知用水神社と

ともに建てられており、毎年5月と11月に殉職者の法要 が行われています。(建設までの労苦は、機関紙『水の文 化』36号愛知用水50年 http://www.mizu.gr.jp/kikanshi/ no36/01.html にわかりやすくまとめられています。)

佐布里池では、南海トラフ地震等の大規模地震を対象と した耐震診断の結果、貯水機能は維持されるものの、液状 化による堤体の沈下や変形が生じる可能性が示唆されてお り、これを抑制するため、平成31年に堤体の上流側(貯 水池側)に押さえ盛土を施工する工事が行われました。補

強により地震に対する安全性が高ま ることで、地震後の工業用水の早期 復旧が実現し、ひいては、地震によ る産業の長期的な停滞の回避につな がることが期待されます。



愛知県 HP より

◆詳細は、見てみよう!歴史災害記録と旬のあいち vol.59(https://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/rekishijishin/geppo.html)をご覧ください。

## ★ 白川氷柱群ライトアップ

白川氷柱群は、御嶽山から木曽水系の西野川に浸み出す伏流水が、岩壁 の上から滴り凍って連なる氷柱群で、年によっては幅約 250m、高さ 50m にもなります。12月頃から氷柱が姿を見せ始め、寒さが厳しくなる1月か ら2月にもっとも大きく育ちます。県道20号線沿い、けやきの湯入口チェー ン脱着場に車を停め、けやきの湯の裏手から川岸に降りると、氷柱群が持 つ圧倒的な迫力を間近に感じることができます。



太陽の光を浴びた昼間の青白い氷柱群も絶景で すが、1月から2月にかけては、午後5時30分頃 から9時30分頃までライトアップが行われ、ひ ときわ美しい姿を見せます。ライトアップ消灯後 長野県公式観光サイトHPょり の星空鑑賞も楽しみのひとつとなっています。

### ~鉄道で巡る~

名古屋駅から JR 中央本線・特急し なので約1時間半 の木曽福島駅は、



木曽おんたけ観光局 HP より

木曽地域の観光拠点となる代表駅です。木 曽福島駅へは、木曽路エンジョイチケット のついた木曽路フリーきっぷもあります。

木曽福島駅から牧尾ダムやけやきの湯 (下記参照) までは、本数は少ないですが、 路線バスの木曽町生活交通システムで行 くことができます。

#### -●ブレイクタイム●-

## ♪ 小坂温泉けやきの湯

小坂温泉けやきの湯は、県道 20 号線西野川沿い、裏手に白川氷柱群が控える天然温泉の一軒 宿です。体の芯まで温まる豊富な湯量の温泉とともに、季節の山菜料理や岩魚料理で地酒を楽 しみ、自然を満喫することができる宿です。西野川の清流で、秋まで釣りも楽しめます。

宿泊も、日帰りの入浴(午前8時~午後8時、400円)も可能で、氷柱群を見たあとに、け やきの湯で身体を温めて帰るのもおすすめです。



木曽路.com HPより

▶この地域の災害に関する碑・史跡、資料・体験談集、地域に残る古文書、研究資料、郷土史研究者・団体などの情報がありましたら、 gensaisan2014@gmail.com まで情報をお寄せください。

この地域の歴史災害記録をオンラインツアー形式、マップ形式で紹介しています。各地の碑や史跡等にご興味をお持ちいただけましたら、『氵 -ムページ(https://www.saitoseeing2020.jp/)をぜひご覧ください。

















